名電工高新聞

編集兼発行
名電工高新聞部
印刷所
共生印刷株式会社

校訓
誠実
勤勉

全日本吹奏楽コンクール出演（ブラス・バンド）

卯年の年頭に

学校長　後藤淳

教職員のみなさん、生徒諸君、ご父兄のみなさん、明けましておめでとうございます。

新らしい卯年を迎え、今年こそ、一段の飛躍の年となるよう決意を新たにいたしております。旧年同様のご協力・ご支援を心からお願い申し上げます。

ご存知の様に本校は、六十余年の歴史と伝統の中に発展し、本年は愛知工業大学の豊田市八千草台校舎への完全移転のあと、余裕ある校舎に施設の移動・拡充改善に意を用い、本校創立以来の校是であります「誠実・勤勉」を生活面学習面に具現し、創立者ならびに先代の遺志を継承し、限りない進展を希求いたしております。

変転する世相の中にあって、毅然として中正を貫ぬき、各自それぞれの立場にあってより高い時点をめざし、個人の完成に精進されることを希望いたします。そうした全体としての総和の集積が学校進展の一大要因であることを思い、教職員、生徒諸君の旧に倍しての研鑚をお願いいたしたいと思います。

住みよい学校、学びやすい学校、たのしい学校の実現のため、一段の努力をいたしたいものと考えておりますので、本年こそ一段と躍進の年となりますよう、心から願い各方面のご協力ご支援をお願いいたし、年頭の辞といたします。

卒業生の動向

○進学について

49年度の進学希望者は四六三名で卒業予定者の四割以上となり、工業課程二三二名・普通科二三一名となっています。この進学希望者を第一志望により分類してみると次のようになります。

愛工大	二五六名
他大学	一二七名
専門学校	八〇名

愛工大進学希望者は工業課程と普通科が半々になっています。他大学の希望者は文科系大学が大半を占めそのほとんどが普通科の生徒です。専門学校の進学希望者の大部分が工業課程で主に電気、電子、コンピューター、自動車整備等を選んでいます。電子、コンピューターの関係はやや増加し、自動車整備は一時より希望者は減少しています。

大学の進学希望者は年々増加していますので、入学試験に合格するのは難かしくなっています。本校の生徒が多く進学する愛工大も志願者が大幅に増加していますので入試に合格するのが困難になって来ています。

進学希望者は基礎学力を充実させ、入学試験に対する実力を養成しておく必要があります。

○就職について

四十八年秋中東戦争の「オイルショック」を端緒として、世界的な規模で広がった「インフレ」と不況の波は、将に狂乱と言われる程に経済に波乱を巻き起こし五十年の春を迎えるにあたり一層その深刻さをまして来ました。

一方産業界においては今春卒業予定の求人取り消しや入社時期の繰りのべなどが、一部行なわれているように報道されています。

本校では、九月の選考試験では、例年になく厳しいものがあり、一次試験で不合格者百名を越える不成績でしたが、第二次・第三次応募で、現在就職希望総数五八七名中全員に近い数が内定いたしました。

本年度の選考試験の結果を振り返って見ますと、大企業会社では学業成績優秀という希望が約三分の一、残り三分の二は明朗快活で実行性の豊かな生徒をと言う希望が圧倒的に多いことが見られます。

従って、選考試験には国語社会専門の各学科試験に併せて、作文・クレペリンテスト・面接試験が特に重要視されている傾向にあるようです。これから諸君を迎えようとする会社は、この激動する経済社会にあって決して生やさしいものではないと考えられます。こうした厳しい状況下にあって就職してゆく諸君等は、本校の「モットー」とする誠実・勤勉な、しかも活動力のある人であってほしいものです。諸君等の先輩は広く会社工場に、既に優秀な人材として重要ポストについている人々が沢山います。これらの人々は、諸君を期待して待っています。

本年度の景気見通しについては経済専門家の報ずるところでは、春頃から徐々に回復過程に入ると予想されるが、やはり、この回復テンポは極めて緩やかであり、急速な景気回復は望めないという観察のようです。

こうした混乱の過程にあって、企業界は徒らに不況ムードに沈滞し、消極的になることなく、却って積極的な経営姿勢で臨むにちがいありません。

こうした時にこそ、会社企業は、諸君等のような若いバイタリテーに富んだ青年を望んでいることは間違いありません。一部老朽した工場企業を若返らすためにも、諸君等を絶対必要としています。

諸君は、これから学校を巣立って、一人の社会人にならうとしています。学生と社会人の違うところは一人前の人間として扱われることです。そして学生時代とくらべて大きく異なるのは労働における責任です。たとえば、試験のできが悪かったとしても、それは自分の成績が下がるだけですみます。病気になって学校を休んでもとりたてて誰に迷惑がかかるということもありません。しかし、職場では、どんな小さなミスでも他人に被害を与えることになりかねませんし、勤めを休む場合でも、同じことが言えます。

要するに、社会人になったからには、自分に責任を持つということです。どうか信頼される社会人としてそれぞれの職務に忠実であることを望みます。

参考までに四十九年度の就職状況を数字で紹介してみましょう。

(1)進路状況	
(イ)卒業予定数	一〇四四名
(ロ)就職希望数	五八七名
(ハ)進学希望数（各種学校を含む）	四六三名
(2)規模別就職状況	
(イ)大企業（従業員三〇〇名以上）	五六％
(ロ)中企業（三〇〇名以上）	二一％
(ハ)小企業（三〇〇名以下）	二三％
(3)業態別就職状況	
(イ)製造業	五二・三％
(ロ)建設業	一〇・八％
(ハ)卸小売	一四・六％
(ニ)運輸通信	四・六％
(ホ)電気・ガス・水道	五・二％
(ヘ)サービス業	六・五％
(ト)公務員	四・〇％
(チ)その他	二・〇％

以上（一月末調査）

論説

何を求めているのか

社会の高度成長を目指し急速な発展を見せた日本、生産と経済の拡大に拍車をかけてきた日本。

そして、得たものは、世界の不信、公害と物価高と何より大きなものは、人の心を傷つけた人間喪失であった。

自然を愛し、自然に従い人の心を重んじてきた伝統のある日本の美点は損なわれ、公害・インフレにおののき、ぎすぎすした人間社会の中で、人々は無力感と孤独感にむしばまれている。

日々のニュースは、それらのことで溢れ、今更のように騒がれている。

そして、地に緑を、公害をなくせ、人間尊重・社会福祉を、若者の教育を見なおせ等々の文字が、数多く見られるようになった。極端な論者は、人類は目滅するとか、地球がなくなるのではないか等と唱える始末である。

この迷える人類世界、途方に暮れているかの如き日本社会の現状を打開し、光明の未来へと躍進させる根本のものは何かを、高校生として考えてみたい。

現状は、すべて過去から未来への過程に当たり、今という時点は、過去・現在・未来へとつながる鎖のひとつ。現在は未完成そのもので、そこに、希望と夢がある筈なのである。

人間の一生に例えていうなら、青年は、幼児から大人への成長の中にある過渡的存在であり、至って未熟である。

従って、完成された人間—そのような人間は神というべきか—から見た青年は欠点だらけだが可能性のある存在なのである。

だから、未来は君たちのものだ。われわれの為し得なかったものを、君たち若者の手によって、幸福な社会をかち得るための資質を身につけねばならないと、一方的に強いられることになるのではなかろうか。

社会常識として、これは誤っているとは思わない。だが、その常識を理解・納得せしめる手段により、個々の若者に、自ら思わしめることが無く、既成観念として、そのすべてを無批判に取得せしめようとするところに、若者の抵抗があることをわかってもらいたいと思う。

人類は何千年の苦闘の結果が、漸く今日の社会を生んだ所以である。長い厳しい人間の生きる知恵と努力が、今日の社会を築き上げてきたのである。

一朝にして、性急に為し得ない人間社会であることを歴史が物語っている。

己だけをよしとする立身出世的な意識や、知識偏重といわれるような、教科書の詰め込みを以て、若者の教育なれりとされるならば反って若者は、その手から離れて行くであろう。

それに、若者の犯罪や自殺行為の多いことから、単にその現象を恐れ、その個人を責めるだけのものでは解決し得ない。

公明正大な社会環境と、暖かい人間尊重と、長い目で見た人類の在るべき姿を志向する理想的な基盤の上に、未熟な若者たちを立たしめ、学歴本位にたつ学習から、親身のある指導により、若者の情熱をふるいたたせるような、はだに感得せしめるようなものを、われわれは求めて止まないのである。

教育を受ける立場にあるわれわれ若者は、そのような人間味のある個性豊かなものを身につけたいと思う。

そのことは、やがて、若者たちが社会の第一線に出て効果を挙げ、除々に明かるい楽しい人間社会を形成することにつながるものである。

しかし、より大切ないま一つのものは、勿論、われわれ若者の考えと態度にあることを忘れてはならない。

謙虚にすなおに己を導くものを受け入れ、自由に思考し、勇気をもって、より高いものを追求し、過去から未来につながる鎖の一環として目覚めねばならない。

そこにはじめて、青年の特権が生かされ、人間回復の明かるい社会に、力強く生きて行く自信と力が育つのである。

そういう教育を求めてやまない。

先生紹介

本年度ご新任いただいた両先生に、次のようにアンケートをお願いした。

一、最終出身校
二、担任教科名
三、趣味
四、本校生徒の所感
五、本校生徒への希望

教諭　蛭川明信

一、新潟大学
二、数学
三、スポーツ
四、時代の流れか本校だけではないが、高校生らしさが失われ、常識の欠如と言葉使いの悪さと、何事にも無気力な点が目立つように思われる。
五、高校生としての自覚に目覚め、母校の発展と、己の教養を深め、悔のない青春の一頁を飾るよう努力をしてほしい。

教諭　妻　進

一、名古屋大学文学部
二、英語
三、読書
四、報恩感謝の念にかけていると思う。
五、「我等は規律を守り、誠実を尊び、勤勉をもって事にあたり、人には同情を持って接します。」の気持ちで学問にスポーツに没頭してほしいと思う。学問は、あせらず、おこたらず、一歩一歩と基礎をかためることが肝要です。どうか、今後とも健康に留意し、尚一層努力して、天下の名電工校の名声を世界にとどろかせてほしい。

卒業を前にして

E3　小川高司

三年前の今ごろは中学生。そしてこの学校へ入ることが決まっていましたが、学校については全くといっていいほど知りませんでした。まして学校の規則などと言うものは知るはずがありませんでした。一つ思い浮かべるとすれば卓球が盛んな学校であるということぐらいでした。

入ってみると、やはり規則がたくさんあり、それは「きびしい」のひとことでした。しかし今になってそのきびしさということを考えてみるといい思い出、と言うよりもそれが当然の事として考えてしまうのです。

一年生の秋ぐらいだったと思います。ある先生の話の中にこんなのがありました。

「就職試験の面接で、あなたの学校の特長をあげよという質問に名電工の生徒は「とにかくきびしい」と答えたそうです。」その人も今ではそうあるべきだと言うにちがいないと思います。

そのきびしさの中で生きがいを見つけるとすれば、やはりクラブ活動ぐらいが適当なのでしょう。私はさいわいクラブに入部していました。あまり打ち込んではいませんでしたが、他に打ち込むものを見つけることができなかったのかもしれません。

三年間の一番の思い出と言ったら、なんと言っても二年の夏の修学旅行でしょう。みんなで旅行をすると言うことはたいへんたのしいことです。

それにもまして、人と人との交わりが深くなっていくとてもいい機会だと思います。そして先生との交わりをも深くするのです。教師と生徒というのは、狭いようで厚い壁があるように思われ、教師と生徒の断絶はたまた親と子といったように打ち解けて話す機会が少なくなっている今、人間教育を中心に考えなければいけない現在、多少ではあるが、修学旅行などはもっとも良い機会だと思います。もっとこのような機会を多く設けてほしいものです。

一日一日がなにげなくすぎて行く中で、このような作文を書くことにより、高校生活をもう一度ふり返ってみるということは、とても大切なことのように思われました。

E3　木下隆司

四十七年の四月に名電工に入学、中学を出てやっと高校生かと、そして今は卒業を目の前に。

思い出すことはいろいろあるが、その中でも一番感じられることは、生徒が学校行事にあまり関心を示さないことであった。

例えば、生徒会の内容にしても、全生徒には充分徹底せず、体育祭や文化祭でも、学校行事なのでしかたがないので出る。三年間、行事があるたびに感じられた。

自分自身もやはりそうであった。しかし今になって高校生活を楽しくするには一人一人がリーダーのつもりで、みんなを引っぱっていけば、行事にしても授業にしても楽しくやれたことだと思う。

三年間で思い出されることは、学校行事ではあまりない。あまりというより殆んどない。今これを書いている時でも、思い出されることは、クラブ活動のことばかりで、学校に関しては、何も思い出すことができない程さびしい気持ちである。

クラブでは優勝もしたが、いろいろなことで、監督さんにおこられたことが頭に浮かぶ。やはり、学校としては、体育祭・文化祭で生徒のみんなに心に残るような行事として盛り上げてやるべきではないだろうか。

体育祭にしても、出場選手を決めるだけでなく、各クラスで応援合戦や人形を作ったり、文化祭でもクラスごとに出し物を考えたりクラス全員で何かをやればそれが何であろうとみんなの力で「何々」をやったんだと。卒業してから思い出すことが出来ると私自身は思っている。

クラブ関係の人達は、クラブで何か心に残るものがあるが、他の生徒は、自分達が全力を出して参加できたという強い印象があまり無いのではないかと思う。

卒業して行く私たちにはもう遅いが、これから卒業して行く後輩には、何かをやらせてみてはどうだろうか。

私自身は義務教育九年間の一年一年なり、高校生活の三年間の一年一年の方が短かく感じられた。しかし高校生活が一番短かく感じられたと言うことは、何か楽しいと言うか、何かに打ち込むことがあったので短かいのだと思った。そしてあとは卒業。次の壁に突入する準備をするだけであるが、三年間のクラブ活動の外にもう一つ何かをやっておきたかったのが心残りである。

E3　小塚茂敏

卒業を間近にして、最後の学生生活をふり返って見るといろいろなことが思い浮びます。僕に一番嬉しかったことは、高校に入学してすぐに、気軽に話せる友達がたくさんできたことです。勉強の嫌いな僕たちの話すことはいつもきまって遊びの話でした。

と言っても、遊んでばかりいたわけではありませんでした。小・中学校では、めったにやったこともない勉強を、高校では自分なりによくやったと思います。これは友達の影響でもあり担任の先生のおかげです。というのは、僕は、先生という人は堅苦しい人ばかりと思い込んでいたので、今までは先生と話すことがなかったのです。これは大きな間違いだと分ったのです。ここの先生は気さくで、気軽に相談などができました。また、授業中の唯一の楽しみは、先生の話してくれる余談でありました。これは勉強よりもためになった。と今でも思っています。このようなことをすると生徒との隔りがなくなると思います。

こうした中で、僕の高校生活は非常に充実していたと思います。そして今は就職も決まり、残りわずかの学生生活をさらによりよく過ごしたいと思います。また、卒業と同時に別れる友達とのつきあいも大事にしていきたいと思います。

これからは新しい社会に希望をもっていきますが、何も知らない僕には、いろいろな問題が起こると思いますが、友達などに相談をしたり、高校時代の先生の余談が役に立つのではないかと思います。

いろいろなことを体験しよりいっそう大きな人間になりたいと思います。

ヨーロッパ雑感

教諭　井上益司

昭和四十九年度愛知県私は教職員海外研修として、四名がアメリカへ四名がヨーロッパへ派遣されました。

九月二十四日から十月十六日までの二十三日間フランス、ドイツ、スイス等十か国を訪れました。短かい日時でしたが、異質の生活や文化に強い印象を受けました。

学園新聞でヨーロッパの学校について書きましたので今度はその生活について述べてみたいと思います。

日本では、朝勤めに出て夕方家に帰りますが、ギリシアやラテン三国（フランス、イタリア、スペイン）では昼休みが二時間から三時間もあって、皆家に帰ってゆっくり食事をします。これらの国では、昼食が正餐です。午後三時頃に再び出勤して三時間ぐらい働きます。ドイツやイギリスなどでは大体日本と同じようでした。

サラリーマンだけではなく、商店も昼休み時間と終了時間がきまっています。例えばローマでは午後一時から三時半の二時間半が昼休み、午後七時が終了時間です。その時間には殆んどすべての商店が店を閉じてしまいます。

住居は皆さんご存じのように、殆んどアパートです。パリやローマのような大都市ではほぼ百パーセントアパートです。一階が商店で二階以上が住宅になっています。郊外でも高層住宅群を造って住んでいます。

一戸建ての家を建てようとすればいくらでも土地があるのに、集合住宅に住んでいます。それらの住宅のまわりは広大な牧草地で、牛が悠々と草を喰んでいるというような光景がよく見られます。

学校には運動場がありません。日本では学校というと広い運動場を連想しますが、私達の訪問した学校はみな中庭程度のものしかありませんでした。

パリもローマも中世には城壁に囲まれた街でした。現在も所々にそれが残っています。ヨーロッパでは中世には異民族の襲撃に備えて、街は城壁に囲まれた丘の上の防備しやすい所に多く造られました。中世の街のほぼ完全なものがスペインのトレドに残っています。

スペインは十六世紀に、世界で最も栄えた国だそうです。トレドは当時の首都です。街をとりまく川と、城壁に囲まれた丘の上にあります。狭い道・傾きかけた家々に現在も人が住んでいます。このような街では一戸建ての住宅は考えられないし、広い運動場も造れなかっただろうと思われます。現在のヨーロッパ人のアパート住いはこんな点から始まったのかも知れません。

そして、その街々は大変に綺麗でした。小さな紙屑さえも、捨てる気になれなくてホテルへ持って帰りました。ただしイタリアは、日本と同じように、街角に紙屑が舞っていました。

日本に帰って先ず感じたことは、駅が汚ないということでした。新幹線のプラットホームさえも汚ないと感じました。これも街に対する考え方が、彼等と私達と異なっているからではないでしょうか。

彼等は昔から田舎でない限り、集合住宅で狭い地区に多くの人が住んできた。すこしずつでも街を汚したら、いかに住みにくくなるかを皆が知っている。

日本人はまだ密集した住み方に慣れていない。また彼等は、室内は豪華であっても、ドアを開ければ直ちに公道である。日本のように庭といえる空間は全くない。彼等にとっては街路が庭ということにもなるのではないでしょうか。

ヨーロッパ人の収入は、英国では週四十時間勤務する成年男子で月平均十三万円弱、フランスではおまわりさんの平均が十三万円、郵政関係者が十五万円、パリでの支出の平均は二十二万円、これは共稼ぎが多いことを示しています。

イタリアではエリートである銀行員で十二万円、この国は失業者が多いので平均はかなり低くなる。スペインは四万円、西独は当然高いだろうということで、聞かなかったことを今では残念に思っている。そしてボーナスは各国とも一カ月分ぐらいとのことでした。ボーナスまでいれると現在の日本はかなりいいところまでいっているではないか。事実ショッピングをしてもパリでもロンドンでも高いと感じたことはない。むしろ少し安いくらいであった。ただしデンマークは高く、日本の一倍半から二倍であった。

東京空港でも、アンカレッヂでも五千円ぐらいのフランスのウイスキーが、コペンハーゲンの空港では、八千円近くもするのには驚いた。この国では平均月収が二十万円、一定の控除額以上にかかる税金は、最低が四十パーセントとのことでした。年収三百二十万円の人で、年間の税金が百万円とのことでした。この国もやはり共稼ぎが多いとのことでした。そして老後には、夫婦で月十万円、どちらかがなくなった場合は六万円が支給されるそうです。

デンマークは、社会保障の完備した国として有名ですが、この高物価の社会で住居や電気・ガス・水道などで特典があるとはいえ、十万円は生活できる最低ではなかろうか。

まわりの国に比べて、きわ立って高い賃金・高物価のこの国の輸出や国際収支は、どのようになっているのであろうか。

ともあれヨーロッパは、街はいうまでもなく、森や耕地もよく手入れさせ、小国といえども高い生活をしている。

しかし、イタリアに、かってのローマ時代の面影はなく、陽気で人はよいが、釣銭はごまかし、値段はふっかける。ホテルでさえも今日四百リラのワインを、翌日は五百リラとって平然としている。スペインも一歩マドリッドを出れば、大地は荒れ果てて荒涼としており、一本の樹さえなく、くずれ落ちた残骸が過去の栄光を物語っている。

紳士の国イギリスは、ロンドン空港が警官と結託した泥棒がはびこる、最も危険な空港として旅行者に警戒されている。

やはり、今のヨーロッパで名実ともに一流国といえるのは西ドイツ、フランススイスではなかろうか。これらの国では、空港の警備も厳重であり、両替は一銭の金もごまかさない。程度の低い国では、空港の銀行といえども信用できない。

りっぱな国ほど子弟の教育は厳しく、一般の人々も働く時間は短かいがよく働いている。

ポンペイの遺跡よりベスビオスを望む

高橋先生重量挙に優勝

49年11月佐賀県有田市で行なわれた、全日本社会人兼実業団対抗の重量挙選手権大会で、三年ぶり二度目の優勝をかち取られました。

バンタム級（体重56kgまでのクラス）に出場。トータル二三七・五kgの自己最高記録を出された。

先生の言によれば、本年は度々の遠征があり、その都度三～四kgの減量に苦労されたが、練習量がものをいったとのことでした。

シキシマパン
クラブ
クラス　の会合に!!
生クリームケーキ、
菓子袋詰、色々お値
打に予約承ります。
☎711-4434
合資会社　紅扇

ヲギソのパン
ヲギソ製菓株式会社
名古屋市昭和区川名本町1の10
TEL（751）2858
2859

各種板硝子・鏡
井伊ガラス

健康の環を世界に
広げる森永乳業……
春です毎日午乳を飲んで
立派な身体を作りましょう
森永牛乳
玉木販売所　千種区上野町五の六五
TEL（711）2235

文化活動も盛り上げよう

『学校祭の反省』

生徒会執行部

昭和四十九年度学校祭も予定通り皆さんの協力により、つつがなく終了した。校長先生のご挨拶にもあったように、「常に一歩前進」の心構えでのぞんだが、更に今後の発展のために反省をしてみたい。

先ずプログラムについてであるが、展示クラブの紹介は新企画であったが、先生方のご協力、ご指導のもとに、何に重点をおくかという内容がみられ、文字通り、クラブ紹介として大変良かったと考えられる。又プログラムの重要な役割りは見やすいことにあり、一歩前進したと考えられるが更に内容の充実を推進したい。

次に出品作品についてであるが、内容において更に深いものにしたいと思う。内容の深いことを考えるとにわか作りでなく時間をかけた作品を期待したい。新しく生物部門のご指導をいただいたが、内容的に見るものがあり、生徒諸君の努力の跡がみられた。

先に内容の深さということを言ったが、作品の告示について、内容的なこと、作品の大きさ等について担当のご指導の先生方のご意見を聞き、検討された内容の告示をすべきであると反省している。こういうところから、更に作品の充実を計る糸口にし、その向上、充実のため新しい味のある作品をお願いしたい。

展示会場の設営、運営面については、本年度は生徒の責任者を含めて、担当生徒諸君が責任を持ち、クラブ顧問の先生方と連絡を密にしたことが良かったと考えられる。

次に、講演会についてであるが、聞く態度に問題がありはしないだろうか。これは、我々の日常の在り方と密接な関係をもっていると考えられる。学校祭において、このような企画が為されることは、我々が高校生であるが故に大切な意義をもつものである。公私の分別をつけるよう猛省を促したい。

次に、運動クラブを中心とした「模擬店」も名電工高の名物になりつつある。準備に時間を要し、ご指導の先生方、担当クラブ生徒諸君のご苦労に謝意を表したい。

又、ブラスバンド部の「音楽会」も我々にとって、恒例の楽しみとして、すばらしい音色を聞けるのも幸である。

中学校展も、年々先生方のご指導もあり中学生らしい作品が見られる。中学生は、楽しんでやっている態度がみられ良いことであると思う。参加しているのだという態度は我々も学ぶべきものがある。

最後に、学校祭の意義とは何であるのか、考えてみたい。先ず、年一回の我々の個人、もしくは、団体の成果の発表の機会である。我々高校生が何かこれをやったという発表の機会なのである。個人研究の出品物も、もっと多く出品する為に計画を立て、じっくりと取り組もうではないか。

生徒一人一人が、学校祭とは何なのか、学校祭をどう進めるのかということを考える時、そこに我々が更に発展させるべき方向に一歩前進し始め、理想の状況に結びつくものと考えられる。我々は学校祭を通じ、自分の行動に責任をもち、更に発展、向上させる内容の充実に向って努めようではないか。

銀賞に輝く 東海代表と 第十回記念演奏会

吹奏楽部

◆東海代表として第22回全日本吹奏楽コンクールに参加。

去る九月三十日、愛知県勤労会館において、東海吹奏楽コンクールが行なわれた。東海五県の県代表十三校と、昨年全国大会で金賞を得た、本校と浜松工業高を加えた十五校にて、代表を競い、幸運にも一席にて代表にえらばれた。

全国大会は菊花香る十一月五日、神戸市文化ホールに於て挙行され、同じく全国各地区の代表十五校が、それぞれ日頃練磨の技を披露した。本校は課題曲二曲の中で「吹奏楽のためのシンフォニア」と自由曲として、フランシス・マクベス作曲の聖ヨハネ黙示録による第七の封印を演奏した。

結果は惜しくも、銀賞にて金賞を逸した。特に高校の部は実力伯仲にて、二校が金賞を受賞したにとどまったが、本校の自由曲は、昨年につづき、当日の実況録音が、日本の吹奏楽七十四年の第三集に収録され全国で発売されている。

◆第十回記念演奏会、盛大に終る。

十回を記念して、会場を市民会館大ホールに移して二日に亘り行われた。一月十八日(土)は、全日本マーチングバンド中部連盟の協賛を得て、金城高校バトン部をはじめ、七チームのバトンチームを招き、バンドアンドバトンファンタジーと名うって午后三時から行われた。バトンの伴奏として、オーケストラピットに入って十五曲、吹奏楽の演奏も十曲、二ステージと、ステージドリルを二時間半に亘り披露した。次いで十九日(日)は、従来の通りの吹奏楽の定期演奏会で、吹奏楽のオリジナル等五曲、日本のファンタジー、ステージドリル、ポピュラーの四ステージと。異色の金城学院ハンドベルクワイアーの特別出演があり、二千人を越す聴衆の盛大な拍手をうけ、二日に亘る記念演奏会、成功裏に幕を閉じた。

国体に優勝

卓球部

第二十九回国民体育大会「記録」

予選リーグ(Cグループ)
名電工(愛知)三対〇島根
〃　三対〇新潟
〃　三対一青森

決勝トーナメント
準決勝
愛知　三対一　埼玉
(1) 大嶋 2　21-16 21-11 14-21　1 橋本
(2) 岡田 1　22-24 11-21 21-19　2 松井
(3) 岡田・小山 2　21-18 21-15　0 松井・大谷
(4) 篠田 2　22-20 21-19　0 清水
(5) 小山 ―― 大谷

決勝
愛知　三対〇　大阪
(1) 岡田 2　21-18 21-15　0 森
(2) 大嶋 2　21-18 21-9　0 浜中
(3) 岡田・小山 2　21-13 21-15　0 祭本・浜中
(4) 小山 ―― 祭本
(5) 篠田 ―― 河野

七十四年インターハイ優勝の熊谷商高・(埼玉)が優勝候補の筆頭と予想されたが、このチームの特徴であるショート戦をさけて、フォア側で勝負した名電工・(愛知)には、インターハイ後の研究、練習ぶりがうかがえた。

この大会一番の好試合は愛知対埼玉の準決勝、二番手の岡田がインターハイ三冠王の松井に対し、松井のナックル性ショートをラケットを上向きにしたショートでミスをさそったり、徹底的にフォアサイドで勝負してセットオールの三セット目、20－17とリードしてこれは…と思わせ場内を騒然とさせた。愛知はこの岡田の健闘でつづくダブルスを取り、篠田が清水を破ってインターハイの雪じょくを遂げ決勝へ進出、大嶋のカット、篠田の粘り、小山の思い切りのよさが巧くかみ合ったチーム力で大阪を文句なく破り、四年ぶり八度目の優勝を飾った。

（一部卓球レポートより抜萃）

今年度もまた一生懸命頑張りますので、一層の声援をお願いします。

陸上競技部の活躍

表彰を受ける（陸上部）

第5回全日本ジュニアー陸上競技選手権大会は、昭和49年11月3・4日東京国立競技場で行なわれ、M二C丹羽豊彦君は男子Bクラスの砲丸投げに出場、14米34を投げ3位に入賞する。

◎名古屋北支部新人大会
総合　優勝　138点
400米　優勝　近藤雅洋
800米　優勝　磯貝喜与二
1500米　優勝　水谷英典
1500米障害　優勝　水谷英典
棒高跳　優勝　桑原秀明
砲丸投　優勝　丹羽豊彦
円盤投　優勝　丹羽豊彦
ハンマー投　優勝　丹羽豊彦

◎愛知県新人大会
総合　2位　53点
400米　優勝　近藤雅洋
砲丸投　優勝　丹羽豊彦
円盤投　優勝　丹羽豊彦

◎愛知県駅伝競走大会
総合　2位　2時間16分27秒
1区　水野裕次　31分46秒
2区　寺田光宏　9分16秒
3区　菊地順二　26分20秒
4区　水谷英典　27分25秒
5区　小林正吾　9分28秒
6区　磯具喜与二　15分55秒
7区　長江弘幸　16分17秒

◎東海高校駅伝競走大会
総合　6位　2時間17分57秒
1区　水野裕次　31分45秒
2区　磯具喜与二　9分09秒
3区　菊地順二　26分54秒
4区　水谷英典　27分12秒
5区　寺田光宏　9分24秒
6区　長江弘幸　17分16秒
7区　小林正吾　16分16秒

◎渥美半島駅伝競技大会
総合　優勝　2時間16分43秒
1区　水野裕次　30分43秒
2区　菊地順二　26分54秒
3区　水谷英典　25分38秒
4区　小林正吾　26分49秒
5区　磯貝喜与二　28分24秒

映画『砂の器』

教諭　太田道治

推理小説の幕開けにはあまりにも美しい詩的情景だった。刻々と焦茶色に変わって行く夕陽を背景に、子供は無心に砂の器を作っては、並べている。潮風に吹かれ、脆くも崩れる器とも知らず。それは漆黒の闇、夜へと連続していることを暗示している。明日なき永遠の夜を。

執拗なまでの刑事の探索ではじまる。犯人の目鼻がついた時、当の犯人は「宿命」の演奏に入っている。ここで作者はフラッシュ・バックの手法を用い、音楽を通して、犯人の過去を再映させる。それは捜査会議の説明でもある。この映画の最高の場面だ。けられても、なぐられても、罵倒されても、生きて行く親子に感嘆し、親子の別れの場では、泣きもする。われわれから殺人者のイメージはかき消されていく。同情したり、共感すら覚えたりする。音楽を通して描かれる彼の世界が、彼の本当の「宿命」のイメージと一致するとすれば、それは殺人者としての苦悩ではなく、過去の自分の歴史に対する激怒の音だった。作者のトリックに完全にはめられてしまった。「音楽の中でしか父親に会えないのだ。」と言う刑事の言葉には、彼の捜査経過とはあまりにもかけ離れた、人間的な涙があった。和賀英良のエゴイズムに対する痛烈なる批判ではなく、作者の方向転換と、心理的動揺がうかがえる。そこには殺人者としての彼を冷酷にみつめ、彼のハード・ボイル(非情)さを極限まで描き得なかった作者自身の、安易な妥協があったような気がしてならない。

それを裏書きするように幕切れに妙な説明が入った。そのために、この作品の視点が完全にぼやけてしまった。まるで、社会制度の不備のために、崩れた父の器(らい病)から生まれた彼の野望の器も、やがては崩れる「宿命」にあったのだ。彼の殺人も避けられない運命だったのだ。といわんばかりだ。それが私にとってこの映画の最も不満な点だった。「砂の器」の崩れる過程が重要だったのだろうか。私には、殺人者としての和賀英良の苦悩の音が聞きたかった。漆黒の闇が見たかった。理恵子の死を知らされても、涙一つ流さなかったような、彼の徹底したエゴをもっと見たかった。もっとも、「宿命」の作曲過程でそれが幾分うかがえたが。

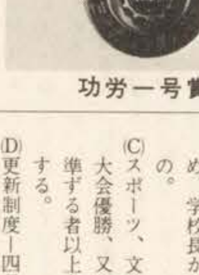
この映画は、単に社会制度の欠陥を描くだけではなく、推理を楽しませながらも、殺人者の心理の葛藤、ないしは非情さを描きたかったのではないか。映画という限られた枠の中で、すべてを十分に表現することは無理であるかもしれないが、この点が特に欠けていたような気がする。原作を読んでいない私には何も言えないが、なにか満ちたりないものが後に残った。

それにしても、すばらしい音楽と、フラッシ・バックの手法の見事さに、つい心を奪われ、作品全体の流れを見失い勝ちだった。皮肉な言い方をすれば、これが実は、この映画の真のねらいであったのかもしれない。最後に、チェスタートンの言葉を引いて、この映画の短評を結ぶことにする。

「大事なのは真実であって、論理の首尾一貫性は二の次だったのである。かりに真実がふたつ存在し、お互いに矛盾するように思えた場合でも、矛盾をひっくるめてふたつの真実をそのまま受けいれられてきたのである。」

（「気狂い病院からの出発」より）

本校 褒章制度 について



功労一号賞牌

本校では学業成績優秀者善行、スポーツ、文芸等を通じ校風振起に特に貢献した生徒に対し、功労表彰をしています。この褒章制度について簡単にまとめてお知らせします。

①功労四号賞牌
(A)学業成績－各学期毎に平均80点以上の成績を収めた者であること。
(B)善行－校内、外において顕著な実績を収め、学校長が認めたもの。
(C)スポーツ、文芸－愛知県大会優勝、又はこれに準ずる者以上を対象とする。

(2)功労三号賞牌
(A)学業成績－各学期毎に平均90点以上の成績を収めた者であること。
(B)善行－校内、外において特に顕著な実績を収め、学校長が認めたもの。
(C)スポーツ、文芸－全国大会優勝、又はこれに準ずる者以上を対象とする。
(D)更新制度－四号賞牌三回授賞者を昇格させる。

(3)功労一号賞牌
功労三号賞牌三回授賞者を昇格させる。ただし功労賞受賞の前歴を有しない者についても、各項にて特に顕著な成績をあげ功労一号賞牌受賞に該当すると学校長が認めたもの。

以上のようになっていますが、功労賞授賞者が校則違反、校内、外にて補導をうけ、又は受賞者に恥ずる行為のある場合は、功労章を没収することになっています。

つぎに本年度三年生の受賞状態をお知らせします。

(1)三号賞牌受賞者
成績優良　EA小室保浩
〃　〃小塚茂敏(2)
〃　〃池田政裕
〃　RA花井優好
〃　RB水野武司
〃　〃荒川健二
〃　〃長江弘幸
〃　MA佐藤文男
〃　〃奈須則彦
〃　〃西田昭彦
〃　〃柴垣吉助
〃　GA谷口　茂
成績優良　GA松永　久
〃　〃中村繁夫
〃　GD下堂敏信
ウエイトリフティング部　GD湯地保雄(2)
〃　MC安島将門
バドミントン部　MD田村隆典
〃　MA桑名達雄
フェンシング部　ME村原憲明
卓球部　EE大島雅美
〃　EH小山賢二
〃　ED岡田一雄
〃　EG篠田幸治
以上二十四名

(2)四号賞牌受賞者
成績優良　EA小室保浩外　四十二名
生徒会活動　MA恒川　勝外　二名
吹奏楽部　EA佐藤　稔外　二十二名
運動部関係　EA木下隆司外　六十一名

馬術部

四十九年九月以降
十一月二・四日　於豊橋市
愛知県スポーツ県民大会
M2C永草秀夫
障害飛越競技　無失点
優勝

十二月一日　於県森林公園
昭和四十九年度　愛知県高等学校選手権戦
G三A丹羽健二—B馬場
G三G山森敏宏—障害
全　新人戦
M2C永草秀夫B馬場　第二位
G2A坂口英治　障害　第一位
総合第一位にて優勝

フェンシング部

第二学期になってからのフェンシング部の成績は次の通りです。

第29回国民体育大会東海北陸地区予選会（昭和49年9月1日、福井県武生市武生商業高校体育館）

岐阜県対9勝0敗、三重県対8勝1敗、富山県対9勝0敗、福井県対5勝3敗にて東海北陸地区の代表県となる。選手は(M3E村原憲明、鶴見年幸、G2B安達伸行、G1C成瀬博夫)

第29回国民体育大会（昭和49年10月21～25日、茨城県結城市鬼怒商業高校体育館）

一回戦リーグ、鹿児島県対2勝1敗、神奈川県対2勝1敗、群馬県対3勝0敗で2回戦へ進出。第2回戦リーグ、神奈川県対1勝2敗、東京都対2勝1敗、準決勝へ進出。準決勝秋田県対1勝2敗、三、四位決定戦神奈川県対2勝1敗、これによって第3位となる。

団体に出場するも4年ぶり。しかも3年が2名であとは、低学年の混成チームでよくやったといえよう。

昭和49年度愛知県フェンシング選手権大会個人戦(昭和49年12月8日、名電工高第二体育館)は大学生、一般人、高校生すべてを含めての選手権であるが、M3E村原憲明優勝、本年度のチャンピオンとなる。

来年度は3年生が一名しかおらず、見通しは暗いが現在一年生の連中が実に熱心に頑張っており、希望をかけている。現在の一年生が三年生になった時、実に楽しみの成績をあげることと確信するものであります。

私の高校時代

教諭　沢柳　徹

「新入生の皆さんは直ちに講堂へ集合して下さい。」入学してまだ学校生活に充分慣れていない我々の耳に、その校内放送はドキッとさせる程大きく響いた。皆心にある種の不安と期待を感じながら講堂へ整列した。

壇上には袴を着けた数人の上級生が並び、我々の周囲には髭面の上級生が二十人程ウロウロと動き回っていた。我々の頼みの綱とする先生は、片隅にただ一人所在なげに立っているだけだった。これが、開校以来伝統の応援練習であった。

団長から応援団の目的等の話があった後、先ず校歌を教えられた。配布されたプリントを見ながら歌っていると、四方から「声が小さい。」「しっかり歌え。」等の声が飛んできた。見ると上級生が我々の間を廻りながら声を出しているのであった。中には二、三人竹刀を持っていた。……これが次の日から三週間にわたって続けられた。校歌のうちはまだ良かったが、手拍子の練習になると苦痛であった。間違えるとはっきり判ってしまうからである。即座に団員がとんできて、尻を竹刀で叩かれるか、傍で意地悪く見ていられたりした。全員が完全に覚えるまで、何度でも繰り返し練習させられる厳しいものだった。

このように私の母校には旧制中学以来の伝統と因襲が根強く残っており、私はちょうどその最後の時に、高校に在籍していた事になる。制帽に油と卵の黄味を付けて光沢をだし、故意に破いてからミシンをかけ、腰には汚い手拭いを長く垂らし、素足に高下駄を履く。これがそのときの硬派の正装であった。一般の生徒はそこまで徹底しなかったがそれでも現代の高校生とは比較にならない服装であった。勿論長髪は禁止されており、全員坊主頭で通学していた。他にもいろいろと校則があったが、それの遵守はある程度生徒の自主に任せられていた。

それでも大して違反する者が居なかったのはその時代の流れだったのだろう。

ただ私が最上級生になった頃から徐々に改革の気運が盛り上がり、今までの伝統の行事がいくつか改善され生徒の服装も次第に身ぎれいになり、革靴で通学するような生徒も見られるようになっていた。その二年後に長髪が許可になったとの噂を聞いたが、現在帰省の際に見かける後輩の姿は全く都会の高校生と変わらない。それを見る度に旧制中学の香りを半分ぐらい嗅ぐ貴重な高校生活を送ったと思っている私には、何となく寂しい思いがしてならない。

相撲部

M3D壁谷卓郎は、11月23日県体育館に於ける愛知県高校学年別相撲大会で一六〇cm・六三kgの小軀にかかわらず中京高校・愛知高校の大型諸豪をなぎたおし第一位となり高校生活最後の栄冠を獲得した。

バスケットボール部

19日、名高で行なわれた49年度県高校バスケットボール新人戦北支部大会で優勝。記録は次の通り。

準決勝
名電工88－77名城付
決勝
名電工108－54瀬戸高

バドミントン部 新人戦に優勝

インターハイ後、三年生が引退し、残った新人二年一年生の選手は連日猛練習を繰り返して、10月27日からの昭和四十九年度、愛知県高等学校新人大会バドミントン大会に照準を合わせた。

この大会は新人選手がこれ以後の試合がどの様に展開するかの絶好の場となるのである。又三年生にも後輩の戦いぶりが気に掛かるところである。

その当日が来て少々安心した。猛練習の成果が徐々に現われ、団体戦もみごとに決勝まで三対〇で全勝した。前年度は準決勝で負けているだけに嬉しかった。難をいうならば攻めが遅くミスが多すぎる。またシャトルのコーナーワークが悪い、ここに気を付ければ、他県にも通用するはずである。

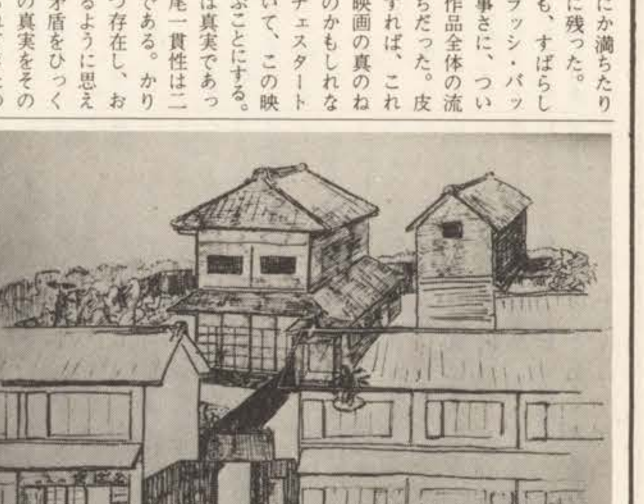
個人戦も又々決勝まで名電工同士で戦い、優勝、二位、四位と取った。個人戦も同じことで、足がもたついている。これら色々な事を考えてもっともっと強くなってもらいたい。

団体戦（エントリー選手）
R2A日比野伸昭　M2A道木良治　G2E高木　章
E2C福岡滋之　G2D加藤洋治　G2E加藤寿規
G1A松村　昌
名電工3－0松　蔭・中　村・科技工・東　海
2回戦　3回戦　準　決　決　勝

個人戦
決勝
15—1
10—15
15—5
名電工（福岡滋之 日比野伸昭）（優勝）
名電工（松村　昌 高木　章）（二位）
三決
東　海（三　島 天　埜）
名電工（加藤寿規 加藤洋治）（四位）

六十年の歴史を閉ず 名電工定時制

教務　天野秋夫



創立当初（名古屋電気学校）のスケッチ

六十有余年の長い伝統をほこった本校の定時制課程が、この三月で幕を閉じるにあたって、過去の思い出の数々を述べて見たいと思います。

歴史を顧みると明治四十五年七月に故後藤喬三郎先生により、中区岩井町に名古屋電気講習所が開設され続いて、大正元年九月に中区矢場町の民家を借り受けて夜間授業を開始された。

この年の十二月には名古屋電気学校として設立認可され、大正二年九月に第一回の卒業式が挙行された。同じく五年六月に新栄町に移転、その後現在の若水校舎に移った。

昭和二十四年十二月に名古屋電気工業高等学校定時制課程電気科増設認可。昭和三十年十二月に電気通信科を増設、昭和三十四年十一月に機械科が増設された。当時の卒業生の中には現在知名の士が数多くおられ、立派に第一線で活躍されています。

私が本校へ赴任し担当したのは、満十年前でその以前の事はわからないが、他の先生方に色々お話しを伺ってみますと、教務の方も次々とかわられ生徒の数も多く移動も又激しかったようです。

行事としては四月の終わりから五月の初めにかけての連休に、九州方面へ三泊四日の修学旅行にいったこと、又伊豆箱根で一夜を明かしたこと、秋の遠足では寒山寺から三ケ日へ観光バスを利用して、密柑狩りにいったことなど、楽しかったことがいっぱいでした。

秋には三好の高校グランドでの運動会、騎馬戦や棒倒し競技で若人が熱中のあまり負傷し、入院したこともありました。特に印象に残っているのは、今から四年前飯田昇君が四十三才で家庭を持ちながら立派に学業を終えられ、卒業式当日には故学長先生から夫妻に労らいの言葉があったことなど、当時の各新聞紙上にも大きく写真入りで報道されました。

続いて次の年には、小川雄一君がこの年輩で表彰されたことなどでした。その後脱落者が多くなり生徒数も減少してまいりました。

然し学校祭には少人数ながら精魂をこめて展示物を作成し、参加の役目を果してくれました。私はその情景をまのあたり見てつい涙ぐんだことが多々ありました。

時代は歳月の流れにつれて変化しこの度、社会の情勢により定時制課程を閉じるにあたって、学長先生始め各先生方のなみなみならぬ御指導と御鞭韃を感謝し併せて、長い間勤労学生のために雇用者の方々の温かい御理解を賜ったことを、心から厚く御礼申し上げます。

編集後記

○千有余名の卒業生諸君の前途を祝福し、併せて、よき先輩となられますよう、お祈りします。

○よき先輩を生み、今日の電気学園の核として、輝かしい歴史をもつ定時制も、この三月で閉校される。感慨無量。

○スポーツクラブの活躍は天下に名電工ありと誇らしいものがある。並行して、文化クラブの盛り上がりもほしい。

○毎号先生方の尊い原稿をいただいているが、学生時代、訪欧雑感、映画鑑賞は、諸君の熟読を願ってやまない。

○本紙は、家庭・社会への伝達も考えて編集してある。大いに活用されることを願う。

○高校生活について、諸君の建設的意見を聞きたいものである。

新聞部員募集中

○希望者は部室まで○

カラープリント
○免許証明用撮影
○2分間写真もどうぞ
純正仕上
名電高生格安!!
カメラ クレヂット 3回～20回払い
若水カメラ
名電工前 711－1869

キハラ製図器
三角スケール（竹・セル張り）
曲線定規
T型定規
その他製図用具一式
コクヨノート一式
名古屋電気工業高等学校御指定
大附通商株式会社
TEL (231) 1744・3354

辞書・参考書の専門店
電気学園指定書店
正友館書店
千種区鏡池通2－13　城山中学校南
TEL (751) 2717